

患者さまと井上眼科病院をつなぐ「眼」の情報ペーパー

INOUYE EYE Note

選択肢が広がる白内障手術

先生の、見つめてきたもの〈vol.03〉 清水院長
地域医療と白内障手術 / いいもの見つけた！

140TH
SINCE 1881
INOUYE
EYE HOSPITAL GROUP
140th ANNIVERSARY

ご自由にお持ちください。



井上眼科だより

2021
AUTUMN
vol.

118



医療法人社団 済安堂

井上眼科病院グループ
INOUYE EYE HOSPITAL GROUP

140周年記念動画をホームページで公開中です。



白内障は、レンズの機能を持つ水晶体が白く濁り、進行すると視力が低下していく疾患です。その主な原因は加齢によるものです。近年では、手術の方法から眼内レンズの種類まで、白内障診療は患者さまのライフスタイルに合わせた選択肢が広がってきています。日々多くの白内障手術を行っている井上眼科病院の白内障診療をご紹介します。

白内障手術Q & A

Q 入院手術と日帰り手術、違いはありますか？

A. 手術そのものに違いはありませんが、患者さまに一番負担が少ない方法を選択することが大切です。術後は眼帯をする必要があり、一時的に視力が落ちる可能性もあります。眼の疾患や糖尿病など他に持病のある方、ひとり住まいの方は、入院手術をおすすめします。翌日また通院するご負担を考えますと、入院し翌日診察を受けて帰宅されるほうが、患者さまやご家族の安心につながります。比較的若く体力に自信のある方や、入院で環境が変わることにストレスを感じやすい方は、日帰り手術がおすすめです。

Q 眼内レンズは、どのように選べばいいのでしょうか？

A. 眼内レンズは大きく分けて2種類あります。遠く又は近くの1箇所の方に焦点を合わせる単焦点眼内レンズ。もう一つは、遠くも近くも、複数の箇所に焦点を合わせる多焦点眼内レンズです。多焦点は見える範囲は広くなりますが、単焦点に比べると見え方の鮮明さは劣り、夜間に光のにじみを感じる場合があります。

Q レーザー白内障手術とはどんな手術ですか？

A. 「フェムトセカンドレーザー」と高機能多焦点眼内レンズ「レンジイス」を使用した、当院独自の白内障手術です。レンジイスは、完全オーダーメイドの多焦点眼内レンズで、遠方から近方まで自然な見え方をするのが特長です。高機能レンズは挿入する際に傾きや歪みが生じると術後の見え方に影響を及ぼします。フェムトセカンドレーザーは、手術時に3D光干渉解析装置で眼の断面像を撮影し、個々の患者さまに合わせた照射位置を決定しますので、精度の高い切開が可能です。レーザーによる正確な切開で、レンズの効果を最大限に発揮することができます。現在、レーザー白内障手術は自由診療で行っています。お気軽にお問い合わせください。

あらゆる白内障手術に対応するために

白内障手術は広く一般的に行われる比較的安全な手術です。手術のタイミングは患者さまが「日常生活で不自由を感じるかどうか」が重要になります。稀にすぐ手術をするのが望ましいこともあります。一般的には担当医師とよく相談しながら手術を受けるかどうかを決めていきます。

当院は、通常の白内障手術を年間4,000件以上行っており、各分野のエキスパートの医師と連携しています。麻酔科医が常駐し、全身状態の不良や高齢で通常の局所麻酔が難しい方の手術の管理を行い、急変時にもすぐに対応できます。緑内障やぶどう膜炎など、他の眼疾患を併発している方の場合、各専門の医師と連携し治療にあたります。

徳田副院長は、難症例も含め個人としても年間1,000件以上の手術をごなしており、他の眼疾患を伴う白内障、10歳以下の小児白内障、全身の疾患に伴う白内障など難しい症例の手術も担当しています。当院は、このようにあらゆる症例に対応できるように努めていますので、安心して手術を受けていただけます。

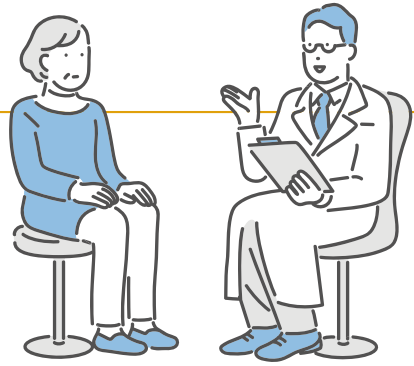


砂川 広海 Hiromi Sunagawa
井上眼科病院 医局長

金原 左京 Sakyo Kanehara
井上眼科病院 副医局長

光畑 みずほ Mizuho Mitsuhashi
井上眼科病院

これらの医師をはじめ、20名以上の医師が手術にあたります。



2020年度実績

日帰り：1,707件

入院：2,817件

※井上眼科病院2020年実績



ピントが合っているところは鮮明に見えますがそれ以外を見るには眼鏡が必要です。

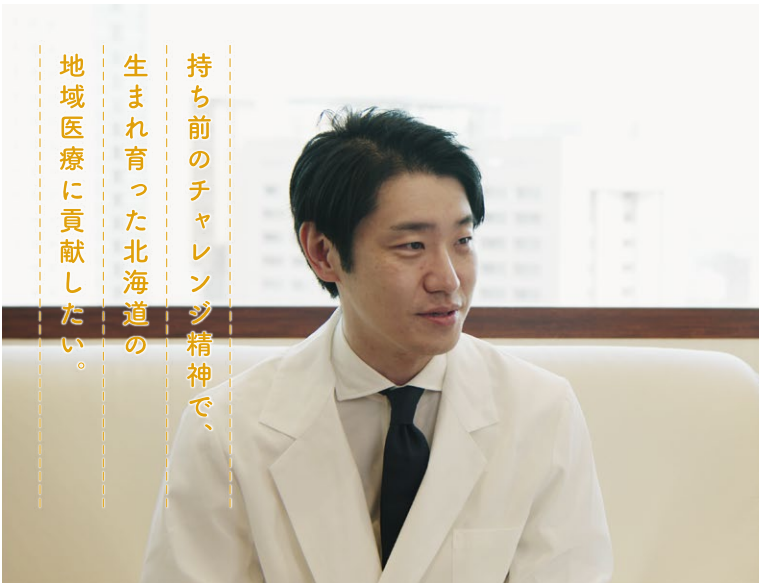


見える範囲は広いですがピントが甘く夜間は光がにじむことも。乱視に対応したレンズもあります。



写真右：レンジイス
写真上：フェムトセカンドレーザー

持ち前のチャレンジ精神で、生まれ育った北海道の地域医療に貢献したい。



北海道の地で、
眼の疾患を抱える患者さまと
日々向き合う清水院長。
医療を志した原点とは…

清水 恒輔

Kosuke Shimizu

札幌・井上眼科クリニック 院長

2007年旭川医科大学卒。同大学の医局に所属し、釧路ろうさい病院・北海道がんセンターなど、北海道各地で眼科医療に携わる。2019年より札幌・井上眼科クリニック院長就任。

地元・北海道で好きなことを全力で楽しんだ 少年～青春時代

小学生の頃はゲーム少年でした。中学になるとギターにはまり、高校では軽音楽部に入部。バンドを組みライブハウスで演奏する音楽漬けの日々でした。当然、将来の夢はミュージシャンです。でも同時にこのままでいいのか？と悩む自分もありました。育ててくれた両親を安心させたい、生まれ育った北海道に恩返しをしたいと強く思ったんです。色々考えた末に出した結論は医師になること。直に人の役に立てる医師は、わたしの理想の職業でした。そうと決めたら後は全力で突き進むのみ。音楽は趣味にとどめて勉強し、晴れて医師になることができました。

眼科医として道内各地で研鑽を積み、 井上眼科病院グループの一員へ

眼科医になった理由は、眼は治療や手術の成果が分かりやすいからです。白内障の手術をすると、翌日から「よく見える」と患者さまがとても喜んでくださるんです。お役に立てたことがすぐに実感できるのが嬉しくて眼科を選びました。

医師として独り立ちして、道内各地の病院や診療所を転々しました。広い北海道は医療過疎のエリアも多く、町に眼科医は私一人ということも珍しくありません。同僚や上司もいない中、さまざまな患者さまを一人で診なくてはならない。そのプレッシャーは相当なものでしたが、この時の厳しい経験が今の自分の大きな糧となりました。眼科医としての腕と自信も身についたと思います。

医師としての経験を積むうちに、専門性の高い大学病院よりも、幅広い症例を扱う地域密着型のクリニックの方が自分には合っていると思うようになりました。そんなことを考えていた時に声をかけてくださっ

たのが、井上理事長です。眼科専門の総合病院として全国区の知名度がある井上眼科病院グループには、著名な専門医も数多く在籍されています。北海道にしながら、日本屈指の眼科医療に触れられる大きなチャンスでした。僻地医療では自分で診断するしかない難症例も、今はグループ内の先輩から直に助言をいただけます。井上理事長が札幌に診察に来られるときは、診療の相談から日本や海外の医療業界の話まで、何でも気さくにお話してくださり勉強になります。

“医師”と“患者”の関係は 人と人との関わりにほかならない

僻地医療で実感したのは、“医師”と“患者”の関係は人と人との関わりにほかならないということ。医師である前に、一人の人間として患者さまに信頼していただきたいし、私も患者さまのことを良く知りたい。まずは患者さまとの対話を大切に、専門用語を使わずになるべく伝わりやすい説明を心がけています。さまざまな症例に対応してきた自らの経験と、井上眼科病院グループの総合力の相乗効果で、高度な医療を提供できる身近なクリニックを目指します。スタッフ一同お待ちしております。



20年前から使用しているギターで、今でも現役です。



内科の疾患から眼科を紹介されたり、逆に眼疾患から他の病気が見つかることもあります。眼に関して何か少しでもおかしいと感じたら、ぜひ一度当院にご相談ください。



地域医療と白内障手術

西葛西・井上眼科病院は、
地域の患者さまが多くいらっしゃいます。
患者さまに対して、白内障手術を
日々どのように行っているのか、
田中院長にお話を伺いました。

田中 宏樹

Hiroki Tanaka

西葛西・
井上眼科病院 院長



高度医療を受けられる 地域密着型の病院として

西葛西・井上眼科病院には、江戸川区、江東区、千葉（浦安市・市川市）など近隣にお住まいの患者さまが多く来院されます。当院の特徴は、地域の皆さまにとって身近な病院でありながら、高度な医療をご提供できる体制が整っていることだと思います。2020年度の白内障手術の実績は年間3,000件を超え、入院施設も完備しています。万が一の急変時にも対応できる麻酔医がおりますので、患者さまはより安全に手術を受けていただけます。

近隣のクリニックとの連携

近隣のクリニックの先生方とは、コミュニケーションを密にして顔の見える関係を築くことが重要だと考えています。硝子体手術も行う当院では入院が必要な患者さまをご紹介いただくことも多いですが、手術を行った後、なるべく速やかにご紹介元のクリニックに戻っていただけるように診療を進めます。患者さまの心身の負担が一番少ない通院方法や最適な治療をご提供するために、今後も地域の先生方との連携に力を入れていきたいですね。

多様化する患者さまの ニーズに応える

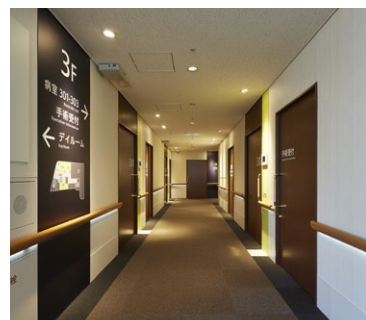
白内障手術は、術後に患者さまが満足する見え方をご提供できるかが重要です。多様化する患者さまのライフスタイルに合わせて、眼内レンズや手術のタイミングを選択し、満足度の向上を目指しています。疑問点や心配事なども気兼ねなくお伝えいただいたうえで、最適な方法を一緒に考えていきましょう。

患者さまに安心して過ごしていただく眼科専門の入院施設

当院では、白内障での入院手術を選択された患者さまに安心して過ごしていただけるよう、設備やサポート体制を整えています。



入院した患者さまには、看護師による点眼指導、薬剤師による服薬指導など、術後の健康管理に必要な身の回りのお世話を経験豊かなスタッフがを行います。入院中の食事もおいしいと好評です！



ユニバーサルデザインを導入し、フラットな床の上に照明の光で進行方向を示すなど、患者さまが移動しやすいよう工夫しています。

大宮・井上眼科クリニックは、一般眼科外来に加え、専門外来も充実しています。
その中から、小児眼科外来と網膜硝子体外来をご紹介します。



野崎 令恵 Norie Nozaki
大宮・井上眼科クリニック 院長

【小児眼科外来】

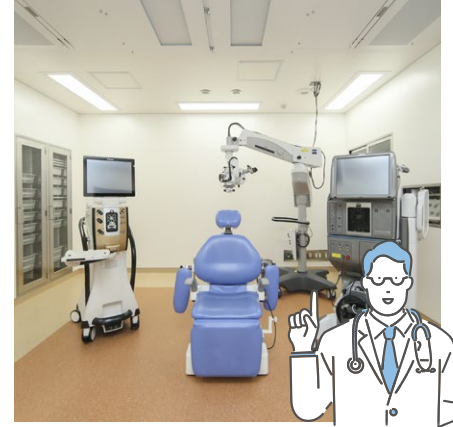
当クリニックの小児眼科外来は、医師と、視能訓練士という国家資格を有する専門スタッフが診療を担当します。小児は視機能発達の重要な時期です。毎年10月と11月には、小学校入学予定者対象の就学時健診が実施されます。この健診で、視力低下や眼の異常が見つかるお子さん多いと思います。当クリニックでは、専門スタッフによる健診後の検査診療もお受けしています。



【お電話での予約】 TEL. 048-871-8471
月～土 8:45～12:00 / 13:30～17:00 ※休診日をのぞく

【網膜硝子体外来】

網膜硝子体外来では、網膜硝子体を専門とする医師が診察と手術を担当しています。硝子体手術は、大きな病院での入院手術が一般的ですが、当クリニックでは日帰り手術も可能です。当クリニックの患者さまはもちろん、他医院からご紹介された患者さまも、初診から手術まで迅速に対応します。お茶の水や西葛西と連携していますので、入院や重症例の場合でも安心して治療に当たっていただけます。



いいもの「見」つけた！

先生たちが最近見つけた、身近な“いいもの”をご紹介します！



大川 隆一
Ryuichi Okawa

コロナ禍で映画館に行けなくなり、自宅でNetflixやAmazon prime videoを利用しています。最近では白黒時代の名作などレトロ映画を「見」つけるのが楽しみです。

西葛西・井上眼科病院
医局長

砂川 広海
Hiromi Sunagawa

絵と美術館が好きですが、近頃はなかなか行けません。最近では鬼滅の刃にはまって、漫画と映画を「見」て感動し涙を流してました。煉獄さんの「目」カと、リーダーシップにあふれたまっすぐな性格が大好きです。



井上眼科病院
医局長

NEWS TOPICS / INFORMATION

グループ Tokyo Eye Festival にて
井上理事長の一般公開講座が配信されます。

東京都眼科医会が主催する「Tokyo Eye Festival」が10/1（金）よりWeb開催をスタートします。今年は Web と新宿駅西口広場のハイブリッド開催となり、井上理事長が「正しく使おう！コンタクトレンズ」をテーマに講演いたします。その他、特設ページにて眼に関するさまざまな情報を発信しております。

無料 全席 東京都眼科医会 / 東京都
Tokyo Eye Festival
目の病気になるとうろく見える！
広場とWebでハイブリッド開催
新宿駅西口広場 10月10日(日)～11日(月)
Web 10月1日

特設ページはこちら▶

札幌 札幌・井上眼科クリニックにて
緑内障の公開セミナーを開催します。

札幌・井上眼科クリニックにて「緑内障」をテーマに11/6（土）参加無料の公開セミナーを開催いたします。セミナー後に井上理事長、清水院長による個別医療相談などイベントも実施予定です。ホームページにて詳細をお知らせいたしますので、QRコードからアクセスしてください。

参加無料
札幌・井上眼科クリニック
公開セミナー
「緑内障について」
2021.11.6 土 14:00
井上眼科グループ
清水 恒輔 院長

詳細はこちら▶